

みなさまのご協力で、さらなるごみ減量へ！

市民・事業者の皆様のご協力・ご尽力により、ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」を推進して、27・28年度の2年間で4.4万トン、約1割のごみ減量を進めることができました。

しかし、ピーク時からのごみ半減の目標(39万トン)を達成するためには、あと2.7万トンものごみ減量が必要ですが、**29年度になって減量のペースが大幅に鈍化しています。皆様お一人お一人の『もう一歩！』がなんとしても必要です。**

特に、**食品ロスの削減、紙ごみの分別の徹底**にご協力をお願いします。

目標達成には
1人1日 **30g**ごみを減らすべし！



 ペットボトルで 1本	 レジ袋で 3枚	 新聞紙で 1枚半
 ピーマンで 1個	 にんじんで 5分の1	 トマトで 5分の1

もったいない！

手つかずの食品や食べ残しなど

食品ロス削減で

もう一歩！

京都市の食品ロス発生量は、なんと**年間6.4万トン**。
また、家庭から出る生ごみのうち、**約4割を食品ロス**が占めています。

食材を買いすぎない、飲食店で注文しすぎないなど、
まだ食べられるのに捨てている

『もったいない！』食品ロスを減らしましょう。



約90世帯3日分の燃やすごみから出てきた手つかず食品 (平成28年度京都市調査)

まあ〜もったいない

まだまだ減らせる！

紙ごみ分別で

もう一歩！

京都市の家庭から出た燃やすごみのうち、
1/3が紙ごみです。

特に、紙ごみの**約3割**を占める**雑がみ**は、**年間約2.3万トン**が燃やすごみで捨てられるなど、**まだまだ分別が不十分**。

雑がみ・新聞・ダンボール・紙パックなど、**リサイクルできる紙類の分別を徹底しましょう。**

「雑がみ」の出し方

- 1 コミュニティ回収に出す。
 - 2 古紙回収業者に出す。
 - 3 「小型金属類・スプレー缶」の収集日と同じ日時・場所に出す。
- ※ 民間事業者がごみを収集するマンションにお住まいの方もマンションのゴミ出しルールを確認し、紙ごみの分別をお願いします。

「雑がみ」とは…

